



破れたシャツをサテンステッチで修理する方法

パタゴニアのシャツの破れや裂けた箇所を修理する方法を説明します。

作成者: Brittany McCrigler



はじめに

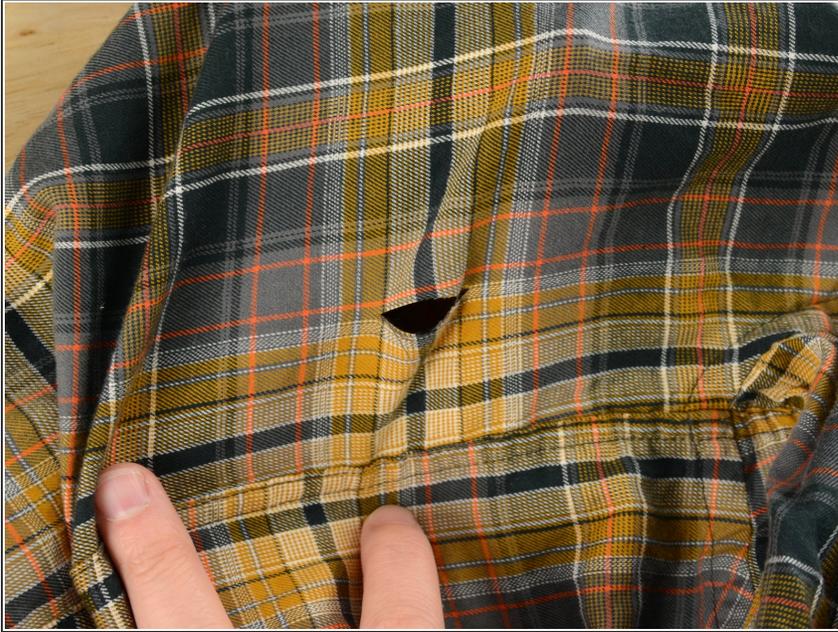
この修理ガイドは、Patagonia シャツの破れや裂けてしまった部分を修復するために必要な手順です。この修理ガイドでは、縫い目のない裂け目や破れに応用できます。縫い目に裂け目がある場合は、[裂けてしまった縫い目用の修理ガイドSeam](#)をご覧ください。このサテンステッチ用の修理ガイドは、パッチ用の布を必要としない程度の狭い穴にのみ使用してください。裁縫は初めてですか？[裁縫の用語集](#)をご覧ください。

交換部品やその他のサポートについては、[\[パタゴニア・カスタマーサービス\]](#)までお問い合わせください。

ツール:

- [Sewing Machine](#) (1)
- [万能ハサミ](#) (1)

手順 1 — 生地 of 破れ



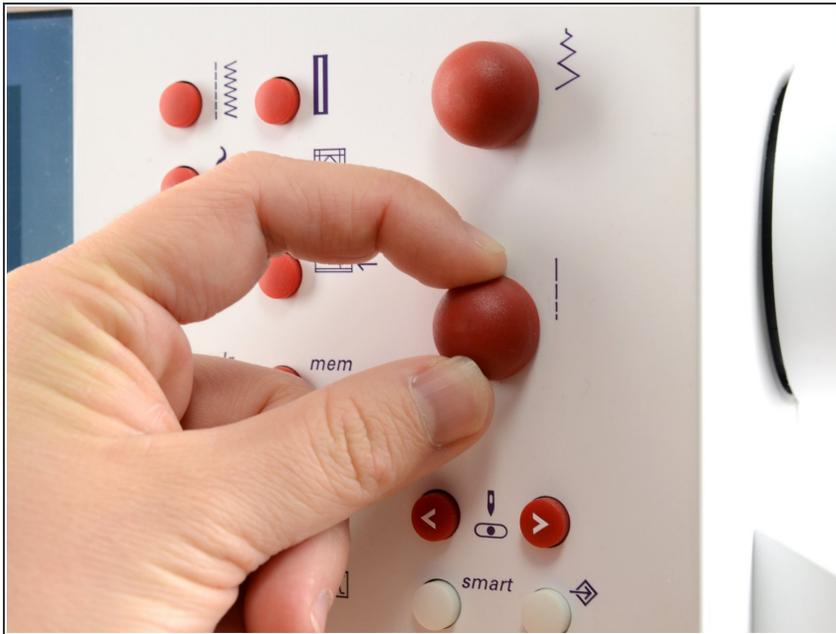
- 破れた箇所および周辺の生地を調べます。
- ほつれた糸を切り取ります。
- 同系色の糸を選び、[ミシンに糸を掛けます](#)。

手順 2



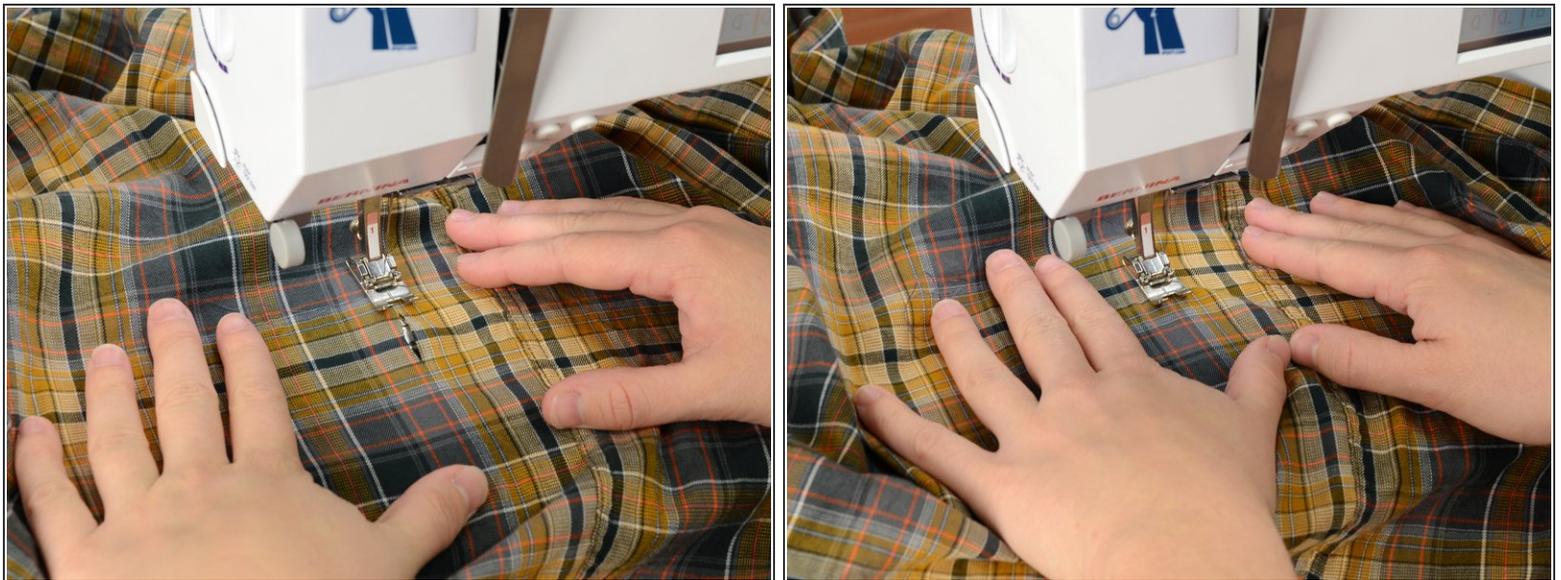
- ミシンの振り幅を 2 または 3 に調節します。
- ① ステッチの横幅を広くしたければ 3 を選んでください。
- ① 振り幅はミシンによって異なるのでお手持ちのミシンの使用方法に従ってください。
- ⚠ サテンステッチで針が押さえ金に当たらないよう、ミシンには針がおちる部分が大きく開いた押さえ金を取り付けられていることを確認してください。

手順 3



- 縫い目の長さをゼロよりほんの少し上に設定します。
- ① 縫い目の長さは縫い目ひと自分の長さを調節します。サテステッチでは縫い目の長さを細かくする必要があるのでゼロに最短の設定を選びます。
- ① 縫い目の長さはミシンによって異なるのでお手持ちのミシンの使用方法に従ってください。

手順 4



- ① ガーゼや薄手の生地での修理では破れた箇所の裏側に小さなはぎれをあてることも可能です。大抵の場合その必要はありません。
- 破れた箇所の1.5センチ上にミシンの針を合わせます。
- 押さえ金を下ろし破れた箇所の上をたどりながら縫います。

手順 5



- 破れた箇所の終わりから1.5センチ下まで縫います。
- 押さえ金を上げて糸を切りシャツをミシンから外します。

手順 6



- 余分な糸を切ります。
- できあがりです。

